



本陣の門6がつ

伊那警察署 藤沢駐在所広報紙

夏期の水難防止

水難は、例年6月から8月にかけて多く発生しています。

特に、魚釣りや水遊び中に溺れたり、ボートから転落するなどの水難が後を絶ちません。

過去には、子供のみで川遊び中に流されたり、レジャー中のカヤックが転覆するなどして、死亡する水難が発生しています。また県外の海で遊泳中に溺水する水難も発生しています。

「水」に対する危険性について、家族や仲間と話し合い、地域全体で改めて危険箇所を点検するとともに、魚釣りや水遊びの際には、ライフジャケットを着用するなど、必要な安全対策を進めましょう。

○水難に遭わないために次のことに注意してください。

①子供から目を離さない

過去には、親や保護者が付近にいながら、子供から目を離した隙に、池等に転落する水難が発生しています。子供は活動的で常に動き回ることを念頭に、子供を遊ばせる時は、周囲に危険箇所がないかを確認、手と目の届く範囲で遊ばせましょう。



②魚釣りや水遊びは複数で

一人で魚釣りや水遊びに出掛けると、万が一水難に遭った際に助けを呼ぶことができません。なるべく複数人で出掛けるとともに、ライフジャケットを着用しましょう。また、子供だけで遊んでいる場合は、周囲にいる人が注意してあげましょう。



③危険箇所の点検を

普段は干上がっている河川敷でも、局地的な豪雨によって短時間で水位が上昇する場所があります。各家庭や地域等で、危険箇所を点検するとともに、危険箇所の管理者に事故防止施設の設置を要望するなど、安全対策を講じましょう。



覚醒剤、大麻、麻薬、危険ドラッグ等の違法乱用・密売の防止

薬物乱用とは、医薬品を医療目的以外に使用すること（一度に大量の医薬品を使用するオーバードーズ）、または医療目的ではない薬物を不正に使用することをいいます。

覚醒剤、大麻、麻薬、危険ドラッグ等といった違法薬物は、現代社会において、老若男女を問わず、主婦や未成年者ですら、インターネット、SNS等で簡単に手に入れることができ、身近で恐ろしい薬物です。

近年、SNS等を通じ、高額報酬等を見返りにした海外から輸入された荷物の受け取りや荷物の配達等への勧誘が増加傾向であり、違法薬物の密輸入の当事者となったり、密売行為に加担するおそれがあるので、注意しましょう。

覚醒剤や大麻、麻薬、危険ドラッグ等の違法薬物に関する情報提供や相談は、

長野県警察本部 組織犯罪対策第二課（代表電話 026-233-0110か#9110）

又は、最寄りの警察署・交番、駐在所

までご連絡ください。

電話でお金の話は全てサギ!!! 電話でお金の話は全てサギ!!!